

# 西小倉地域小中一貫校整備検討委員会

## 第8回 学校部会会議録

日 時 令和4年7月28日(木) 19時00分 開議

場 所 宇治市立西小倉中学校 視聴覚室

### 会 議 日 程

#### 1. 学校部会協議

①開会

②保護者説明会について

③西小倉地域小中一貫校計画素案について

④閉会

会議に付した事項 会議日程に同じ

出席者

(委員長)

山花 啓 伸

(副委員長)

岩 井 浩

(部会長)

渡 邊 和 孝

(副部会長)

黒 田 忠 雄

(委員)

井戸本道衛 門 脇 洋 子 伊 藤 敏 雄 栗下加代子

渡 邊 和 孝 中 野 正 彦 手塚ゆかり 上 田 智 子

米 村 洋 行 中 尾 和 之 白 藤 友 子 馬 淵 伸 一

西 村 祐 弓

(事務局 教育委員会)

教育支援センター長 林 口 泰 之

学校改革推進課長 吉 川 貴 之

学校改革推進課主幹 平 山 幸 司

学校改革推進課 半 田 悠 祐

学校改革推進課副課長 山 口 立 彦

学校改革推進課総括指導主事 坂 上 敬 宣

学校改革推進課 瀬 野 克 幸

(事務局 建設部)

施設建築課長 塩谷知子  
施設建築課 西尾信吾

施設建築課副課長 池本泰

## 開 会 (19時00分)

### 1. 学校部会協議

#### ① 開会

部会長が「西小倉地域小中一貫校整備検討委員会第8回学校部会」の開会を宣言する。

定刻になりましたので、会議を始めさせていただきます。

委員の皆様、このたびは、第8回学校部会にご参加いただきありがとうございます。

それでは、冒頭に教育支援センター長から挨拶をお願いいたします。

#### 【教育支援センター長あいさつ】

皆様こんばんは。何かとお忙しい中、ご参集頂き、ありがとうございます。

本日は、夜分遅くにお集まりいただき、この会議を開催いただきましたことに心より感謝申し上げます。

これまでの学校部会で子ども達のためにより良い学校になるようにとグループワークなどを通して様々なご意見をいただいたこと、また、学校部会が主催し、意見交換会を実施し、多くの方々からの意見を吸い上げていただきましたことに厚く御礼申し上げます。

子どもたちにとりましても、地域の皆様方にとりましても素晴らしい小中一貫校となるよう一日も早く開校させたいという思いは、市教委もここにお集まりの皆様も同じ思いであると受け止めております。

本日は、先日市教委主催で実施いたしました保護者説明会や(仮称)西小倉地域小中一貫校計画素案についてご説明申し上げます。どうぞ、よろしく願い申し上げます。

#### ② - 1 保護者説明会について

資料①「保護者説明会 意見交換での意見の概要①」をご覧ください。こちらの資料は先日実施しました西小倉地域小中一貫校整備に関する保護者説明会での意見交換で出た意見をまとめたものです。

保護者説明会は、7月23日(土)15:00～西小倉小学校ランチルームで実施し、市教委から西小倉地域小中一貫校計画素案について説明したのち意見交換会を行いました。

意見は主に給食とグラウンドについてのものでありました。

給食については

- ・素案に給食室がないことが気になる。
- ・給食は保護者にとっての重要ポイント。
- ・給食の話なしで説明会をしても意味がない。
- ・宇治市小学校給食における提供のあり方検討委員会もできる限り自校式でという意見を出しておられた。
- ・子ども達は給食を楽しみにしており、自校式では学校で育てたものを使ったりしている。給食は大事だ。
- ・広報誌にも給食がなくなることは書いていない。保護者は当たり前自校式だと思っている。

といった意見をいただきました。

グラウンドについては、

- ・放課後の子ども達の遊び場はあるのか。
- ・育成の子どもと、放課後学校に遊びに来た小学生と使用が重なるのではないか。
- ・西小倉中学校が部活を行っているが、今の段階で狭い印象。小中一貫校になるとさらに狭くなる。南小倉小など他の場所は使えないのか。
- ・工事期間中、グラウンドが使えないのはどのくらいか。
- ・敷地外のグラウンドが危険だと言っているのに工事期間中に敷地外のグラウンドを使うのはおかしいと思う。
- ・サブグラウンドの広さで200人がどのような遊びができるのか考えているか。
- ・教育環境を良くすると言っているが、限られた敷地ならそんな一貫校はつくらなくていい。
- ・サブグラウンドは職員室から目が届かないのではないか。

といった意見をいただきました。

給食・グラウンドに共通する意見として

- ・給食、グラウンドはどうしてもグレードダウンした印象になり、そういう学校になると悲しい。
- ・給食、グラウンドについての結論はいつ出すのか。

といった意見をいただきました。

その他、敷地や施設等についての意見として

- ・西小倉中学校の敷地の横に公園が2か所あるが敷地を広げる計画はあるのか。
- ・屋上を活用する意見は出たか。
- ・正門が狭いと思うが、正門の位置を変えることは考えているのか。

といった意見をいただき、その他には

- ・北小倉が遠くなるのが心配。通学路についてもっと早く検討してほしい。スクールバスや安全対策の検討をしてほしい。
- ・進学先を迷っている保護者もいるので情報は早めに出してほしい。

- ・一貫校の話が前向きになるよう保護者としても協力したい。市で抱え込まずに地域と話し合っていたらいい。地域全体に関わることなので何か手伝えることはないか考えている。
  - ・小中一貫校になることは決定しているのか。
- といった意見をいただいたところでございます。いただいた意見につきましては、今後、西小倉地域小中一貫校の整備を進める中で検討してまいりたいと考えます。
- 説明は以上となります。

## ②-2 南小倉小学校 保護者アンケートについて

南小倉小学校PTAでは、保護者の意見を広く聞きたいという思いから保護者アンケートを実施し、7月14日に学校部会事務局である宇治市教育委員会 学校改革推進課に提出されました。そのアンケートの内容について報告いたします。資料②は、アンケート内容の概要となります。

本来でしたら中西委員から報告いただくところではありますが、本日欠席されておりますので、私が資料の1枚目を代読させていただき、その後委員の皆様には、5分間時間を取りますので、黙読していただきたいと思っております。

では、今から5分間の時間を取りますので、黙読ください。

《5分間の黙読》

いただいた意見につきましては、今後西小倉地域小中一貫校の整備を進める中で検討してまいりたいと考えます。

説明は以上となります。

## ③ 西小倉地域小中一貫校計画素案について

西小倉地域における小中一貫校 基本計画素案について説明いたします。これまでの学校部会では宇治黄檗学園での経験を踏まえた基本コンセプトに基づき、「こんな学校ができたらいいな！」「こんな学校にしたい」等をテーマに、グループワークを行い、意見交換を重ねてまいりました。

また、こうした意見交換を踏まえて作成した基本計画素案を5月26日の教育委員会会議においてお示ししたところ、教育委員より、交流スペースと一体利用可能な中庭でいろいろな交流ができる回廊型のA案を推す複数のご意見をいただいてまいりましたが、第6回の学校部会においては、特にA案について、採光や通風、視認性について課題があるのではないかと懸念も示されたところです。

こうした意見を踏まえまして、第7回学校部会では、先進事例の回廊型の視察を行った結果について報告させていただきました。市教委から類似事例では回廊型でも採光や通風については十分確保できていること、視認性を確保する安全対策の事例について

て説明させていただいたところ、A案について「曲がり角をガラスにすることで見通しが良くなることがわかった。」「風通しが良いことが分かった。」など、A案の懸念点が払しょくされたとのことのご意見の他、「自然な交流が生まれやすいのではないか」「動線がコンパクト」「全体的にまとまっているように感じる」などのA案を推す複数のご意見をいただいたところです。

市教委といたしましても、こうしたご意見を踏まえ、A,B案いずれが宇治市の目指す西小倉地域小中一貫校整備の基本コンセプトをより実現できるものとなるのか、これまでの学校部会での意見を踏まえ、1案に絞る基本計画策定に向け、今後庁内協議を進めてまいりたいと考えております。

説明は以上となります。

#### [質 疑]

委員：保護者説明会や保護者アンケートで保護者の方が様々な不安を抱いておられることがわかったが、市教委としてどのように答えておられるのか教えていただきたい。

事務局：南小倉小学校のアンケートについては、保護者のご意見を集めていただきましたが、

この内容について特に何か市教委として回答をするものではないと考えております。保護者説明会でいただいた意見につきましては、意見交換等を行う形式ではありましたが、その場で回答をしております。主なものを申し上げますと、

- ・給食については、一貫校の給食室は設計業務の中で検討することとしております。また、市全体としては「宇治市小学校給食における提供のあり方検討委員会」の中で、議論を重ね、現在、検討委員会から意見をいただいたところであり、今後、市教委としての方針の決めることとなりますことから、一貫校の給食提供方式については、本日の時点でお答えできることはありません。
- ・グラウンドについては、メイングラウンドは中学生が部活をしているので、小学生はサブグラウンドで遊び、育成学級は別の場所で遊ぶことを想定していますが、今後検討事項ではありますが、少しでも遊べる場所を確保していくように今後考えていきます。3小学校の跡地利用にも関わってくるのでその件については地域部会で検討されています。
- ・西小倉中学校の敷地の横に公園が2か所あるが敷地を広げる計画はあるのかという意見については、将来的にはそのような可能性今後の検討の中でなくはないと考えております。
- ・屋上を活用することは検討しているのかという意見については、現段階ではプールを1階ではなく第2体育館の上にする事となっています。
- ・正門が狭いと思うが、正門の位置を変えることは考えているのかという意見には、現在の正門以外からも登校できるように検討しています。
- ・北小倉が遠くなるのが心配。通学路についてもっと早く検討してほしい。スクールバスや安全対策の検討をしてほしいという意見には、スクールバスについては現在のところ考えていませんが、通学路だけでなく正門東側の安全対策等も含め

て考えていきます。

・進学先を迷っている保護者もいるので情報は早めに出してほしいという意見には、必要な機会になるべく早く情報を発信できるようにつとめていきます。

と回答しております。

委員：保護者説明会やアンケートの意見の概要だけの資料になっているが、意見に対する市教委の回答も記載した資料にするべきではないのか。

事務局：保護者説明会での市教委としての回答は、これまで学校部会で議論してきた内容や学校部会主催で実施した意見交換会でいただいたご意見への回答と変更はありません。保護者説明会でのご質問は、これまでの学校部会でのご質問と内容も重複しておりましたので、保護者説明会で市教委として何かこれまでとは違った内容や、新しい考え方をお示しをしたということはありません。これまでの市教委の回答としては委員もご承知の通り、意見交換会でのご質問への回答として広報誌や宇治市ホームページでお知らせしております通りでございます。

委員：検討委員会でA案、B案をまとめるわけではないということでしょうか。このままでは知らないままに決まっていた、ということになりそうである。

事務局：学校部会でこれまでいただいたご意見をもとに、市として決定していきたいと考えております。

委員：学校部会でも給食については自校でとなっていたと思うが、実際にはどのようになっているのか。

事務局：一貫校の給食室は設計業務の中で検討することとしております。また、市全体としては「宇治市小学校給食におけるあり方検討委員会」の中で、議論を重ね、現在、検討委員会から意見をいただいたところであり、今後、市教委としての方針を示すこととなりますことから、一貫校の給食提供方式については、本日の時点でお答えできるものではありません。

委員：宇治市小学校給食における提供のあり方検討委員会とはどんな組織なのか。

事務局：現在宇治市の小学校では山間部2校を除く20校で自校調理方式で給食の調理を行っています。一方中学校は、給食センター方式による給食を令和8年から開始できるように整備を進めています。宇治市小学校給食における提供のあり方検討委員会では、宇治市小学校給食の提供方式に関する方針等について検討されており、先日、検討委員会から教育委員会に意見書を提出していただきました。意見書に書かれている内容は、

- ・自校方式は、児童の身近で調理するというメリットがあり、可能な限り継続してください。
- ・今回、整備する給食センターの規模は約6000食であり、小中学校分すべてをただちに賄うことは困難ですが、今後、児童生徒数の減少が見込まれることから、給食センターの活用を図ることも大切です。
- ・小学校給食に給食センター方式を取り入れる場合は、該当校の保護者等の不安を軽減するため丁寧に説明するとともに、食育指導やアレルギー対応等のため、細

かな指導ができるように、栄養担当職員を配置してください。

- ・給食センターは、試食会・調理実習などセンターを利用した食育やICT技術を活用した学校と連携した食育など、児童生徒のみならず、保護者等も対象とした食育の拠点施設として整備されることを望みます。
- ・献立については、ドライシステムのセンター方式及びドライシステム導入校と、ドライ運用校の間でそれぞれの利点を活かしたメニューとなるよう努めてください。
- ・自校方式・給食センター方式等の提供方法に関わらず、ドライシステムをはじめとした衛生管理レベルの向上に努めてください。

といったものです。給食室は一般的にドライシステムとウェットシステムで区別しており、ドライシステムとは、極力床を水でぬらさないよう気をつけて運用し、細菌を繁殖させないようにすることをいいます。

委員：今日の学校部会では特に議論をするべき内容があったのだろうかと思う。事前にどのような話をするか、事前に知らせてもらいたい。

事務局：本日の学校部会はグループワークなどを通して何か話し合ってもらいたいものではなく、西小倉地域小中一貫校計画素案についての市教委の今後の方向性をお話しさせていただく場となっております。委員の皆様には事前に資料をお送りするなど本日の部会の内容をお伝えするべきでありました。

#### ④ その他

事務局より説明する。

いつもであればこの場で次回の日程調整を行っているところではありますが、現在の段階では、開催時期がいつになるか決定しておりません。今後、電話やメール等で日程調整を行い、案内文書を送付いたします。

#### ⑤ 閉会

それでは、最後に教育支援センター長から挨拶をお願いいたします。

##### 【教育支援センター長あいさつ】

委員の皆さまには、これまで（仮）西小倉地域小中一貫校につきまして、忌憚ないご意見をいただき、ありがとうございます。

市教委といたしましては、これまでの学校部会での意見を踏まえ、1案に絞る基本計画策定に向け、今後庁内協議を進めてまいりたいと考えております。基本計画を策定したのち、あらためて整備検討委員会にご報告したいと考えているところでございます。

いずれにいたしましても、これからの時代にふさわしい小中一貫校とするため、これまで宇治市で行ってきた小中一貫教育の取り組みを基本としつつ、子どもたちの発達段階に応じた学習環境や、ウィズコロナ・ポストコロナの状況も踏まえた新しい学びに対応する教室環境などを基本的な考え方として、基本コンセプトである多様な異学年

交流ができ、9学年のつながりとふれあいで、互いに成長でき、子どもたちが光り輝く小中一貫教育を推進する学校となるように今後基本設計を進めてまいりたいと思います。

整備検討委員会におかれましては、今後も、西小倉地域の核となるような小中一貫校の開校に向けて、様々な事項について今後も引き続きご意見を伺ってまいりたいと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。

部会長が閉会を宣言する。

以上で本日の協議は終了となります。

本日はどうも、ありがとうございました。

**閉 会** (20時00分)